

千葉県立鎌ヶ谷高等学校



1 学校の紹介

本校は、地域から「かまこう」と呼ばれ親しまれている昭和46年4月に創立した全日制普通科の高等学校である。まもなく50周年を迎え、卒業生総数は、15,433名（平成30年度末）にのぼる。在籍生徒数は、24学級961名（令和2年1月8日）であり、多数の生徒が大学等に進学している。

教育目標

- 健康でたくましい気力と体力をもち、最後までものごとをやりとげる人間（実践力）
- 知を愛し、科学的に思考し、豊かな情操をもって、創造に喜びを見出せる人間（創造性）
- 自己と社会をみつめ、さまざまな価値や情報に理性的自律的に対応できる人間（主体性）
- 自由と責任、権利と義務を正しく認識し、自然と生命に畏敬の念をもち、互いに敬愛し協力しあう人間（道義性）

教育方針

教育目標に掲げた人間の育成を目指す過程で、特に社会的・職業的自立に向けて必要な能力である「自ら考え、表現する力」及びその態度を育成し、あわせて生徒及び保護者のニーズに応え、地域や中学校等に信頼される学校づくりを行う。

読書活動に関する目標

今年度の図書視聴覚部基本目標は、「生徒の読書意欲を引き出す工夫及び生活習慣となる持続可能な読書活動を活発にするために必要な業務を計画的に遂行し、図書館・視聴覚室の有効利用を図る。」である。また、学校重点目標「1. 主体的な行動力の育成（やる気スイッチオン）」「2. 学習指導の工夫・改善」「3. キャリア教育の実践と進路実現」「4. 安全・安心な教育環境の整備」で掲げられている具体的な取組を達成できるよう、図書館運営と図書委員会指導を行っている。

2 図書館の現状

開館時間 学校授業日 8:40～16:45 （長期休業期間は別途定めている）

本校図書館は、生徒教室棟と別棟の管理棟3階（階下は職員室）に位置し、閲覧室（キヤレルデスク24席含む95席）書庫・司書室を有する。学校施設全体が老朽化しており、図書館も天井の雨漏りなど修繕の必要な箇所がある。閲覧室の蔵書はほぼ電算化されているが、ここ1～2年館内PCの不具合が相次ぎ、「アナログ貸出」で対応することが少なくない。インターネットが使用できない、登録やラベル印字が遅れ新着案内も滞るなど、利用者の不便解消のためにも図書館資料の充実とともに設備の整備が急務である。

令和元年度図書（備品）購入予算 771,000円（県費配分24学級クラス）

資料登録数 32,628件 購入図書 540冊 購入雑誌類 240誌

平均入館者数 39名/日 団体(予約)利用：約150時間（1/9現在）

3 教員の取組

(1) 校内組織と主な役割

校務分掌「図書視聴覚部」4名（司書教諭1名、係教諭2名、教育職学校司書1名）が学校図書館の運営及び図書委員会・放送委員会の指導を担当している。今年度から各学年所属の教諭3名も図書委員会の顧問に加わった。学校司書（以下「司書」）は常勤である。

(2) 生徒・教職員に対する支援例

学校図書館の運営に関すること	年度始めに図書館運営計画・利用案内（生徒向け、教職員向け）を作成している。学校図書館は学校図書館「法」に定められていること、館長＝校長を明記
	資料収集と蔵書管理について 職員向け利用案内とセット（両面印刷）で通知
	職員への情報提供 まわしよみ新聞、各新聞社作成の新聞ワークシート、進路に役立つサイト、ユニバーサルデザインフォント等、千高教研学校図書館部会の研修会や講演会（作家や出版、大学教授等教育関係）等で得た情報を随時提供。また、校内研修会関連資料を職員室の司書机上に展示する等、適宜紹介している。
	新入生向け利用案内（オリエンテーション期間） アイスブレイクや担任・司書のブックトークで「本と人に会える図書館」をアピールし、図書館へ誘う。
	広報紙 図書委員が作成する年間24号発行予定の図書館だより「図書委員の下克上」の裏面に図書館イベントの案内・報告や図書紹介を掲載したものや年度末に図書委員の特集する記事を盛り込む図書館報「つるべ」を発行。
(定期的) 読書推進活動に関すること	昇降口の掲示コーナー 図書委員が季節の飾り付けや催し物案内をしている。 レファレンス・進路支援 調べ方・読書相談、面接や自己PR・小論文に関連資料の案内、進路指導部取り纏めの進学補修講座「表現型入試勉強会」（通年・夏期）等常設コーナー 新聞・時事／進路・新書／修学旅行（沖縄）／文庫 等
	校外研修会 作家や文学講座、科研費プログラムや大学図書館・コンセプト書店等の見学研修会を企画・案内する。今年度は、JPIC YOUTH 主催トークイベント（6月茂木健一郎氏・12月出口治明氏・2月内田樹氏）等を紹介し、参加した生徒から「新たな価値観に気づくことができた」等の感想があり好評であった。 その他、ビブリオバトル東日本大会（9/8）・千葉県大会（11/27）の参観案内等。
	校内ビブリオバトル大会 昨年度4回実施。生徒から開催を求められ、それに応える形で実施。日程調整や参加者への助言は司書が行い、参加案内や当日の司会・記録・会場準備等は図書委員が係分担し運営している。今年度は以下3回実施。 第1回（6/12）校外参観者・保護者バトラー含め参加者64名と盛況だった。 第2回（7/17）9月開催の東日本大会予選兼ねて実施した。35名が参加した。 第3回（12/17）クリスマスビブリオ“カフェ”を小学校の「ビブリオ学習」支援の練習を兼ね、プレゼン3分のミニビブリオバトル式で実施。参加者17名。班予選（個人戦）後にチーム対抗で決勝（団体戦）を行う、2段階方式を試みた。
	鎌高図書館フェア（10～11月） 雑誌のバックナンバープレゼント会や文化祭発表（図書委員創作小説を和綴じ製本、ゲラでPOP、「ワタシの一行」等）の再掲示に加え、「講談」・「絵本の読み聞かせ」・「まわしよみ新聞」・ミニビブリオバトルシートを利用した「自己表現（面接PR）」等のワークショップを開催した。
(イベント的)	

(3) 学習等に関する支援・指導例

ア 教科学習

美術Ⅱ 絵本制作 2単位 2学年選択 100名 (24～26名×4)
2・3学期合計 80時間



【司書・図書館の支援】

2学期から3学期にかけて8ページの絵本を制作している。司書は製本方法を教科担当者に教えたり、作品のイメージを膨らませるための参考資料を提供したりし、直接的間接的に学習を支援している。自校蔵書にも絵本は数冊あるが、図書館ワークショップや学習ボランティアで使用するため県立図書館より借り受けていた絵本セット約100冊、とりわけ大型絵本が喜ばれた。絵本制作は主に美術室で行われる。授業の途中に、来館する生徒の求める資料は、配色・虫・虹・影・光・百人一首・食べ物・テトリス・地図・英単語などさまざまである。抽象的なイメージを言語化し、どのような資料にヒントがありそうか、生徒とともに考える。完成した作品は、成績がつけられた後に閲覧室で展示することになっている。

保健体育 レポート作成 1単位 2学年8学級 322名 3学期合計 50時間

各クラス6～8時間「保健」に関するレポート課題学習を図書館で教科担任と司書が連携して行っている。レポートは、各クラス最終授業時(2月末～3月上旬)が提出期限である。

主に保健体育科教員が出欠や授業数の確認・図書館利用マナー・レポートのアウトラインやテーマの範囲について、学校司書が校内外の「図書館」でできることや「調べ方」全般について、生徒の進捗を把握し合い、全体説明あるいは個別に対応し、指導している。

【テーマ例】

がん	脳卒中と心臓病	虫歯と歯周病	睡眠	大麻と覚醒剤	薬害
抗生物質	インフルエンザ	腸管出血性大腸菌感染症	エイズ	性感染症	
心身症	交通事故の責任と保証	車の安全	心肺蘇生法とAED	熱中症	
RICE	低用量ピル	脱毛	視力の低下	認知症	ユニバーサル・デザイン
介護保険	臓器移植	インフォームドコンセントとセカンド・オピニオン			
オゾン層の破壊と健康	地球温暖化と健康	酸性雨と健康	放射線と健康		
内分泌かく乱物質(環境ホルモン)	アスベスト	合併処理浄化槽	HACCP		
遺伝子組換え食品	食品添加物	フリーター	過労死	臨界事故	うつ病
DVT 障害	花粉症とアレルギー	ドーピング	オリンピック・パラリンピック		
再生医療	日焼け	結婚	摂食障害	受胎調節	原発事故 (その他相談)

【司書・図書館の支援】

レポート作成の助言 多くの生徒が進学していく大学は、「研究機関」でもあり、調査活動は欠かせないことから、最低限の論文作法やレポートの書き方を高校で身に付

けておきたいこと(必要性)を説明している。これからの「答えのない世界」で生きる生徒たちの助けとなるであろう、「自身で問いを立て解決していく力」つまり「探究する力」を育む機会となるよう、自身が興味を持てるテーマの決め方から資料選びのヒント、情報の整理法等について具体例をあげ、「魅力あるレポート」について考えさせ、学習に取り組むようアドバイスしている。授業を通して、学ぶことの面白さや粘り強く取り組むことで得られる達成感を味わい、「読書活動は自分の頭で考えたことを発信する基礎」となることを生徒に体感して欲しい。

資料の提供 複数の生徒が使用している本校蔵書(今年度約200冊)は、通常の館外貸出をせず、ブックカートに「館内とりおき」したり、閉館時対応としてコンテナに入れ廊下に運び出したりして共用している。新指導要領で取り扱う「がん教育」関連資料の収集にも配慮している。資料の種類や情報収集の方法を説明し、千葉県立図書館や他校図書館より借り出し資料提供する他、他館の利用方法を案内し、地元の図書館や専門図書館・大学図書館・博物館等へも足を運ぶよう促している。

情報メディア活用の指導 生徒がインターネットを使用できるPCが館内に1台しかないため、授業時に限り、スマートフォン等の電子機器を持ち込み利用することができる。1年次に「情報」を履修している現2年生は、現3年生より情報活用の理解度は高いが、Web利用上の注意・複数メディアの活用・著作権等について重ねて指導するようにしている。

【生徒の感想～印象に残っていること】 2学年図書委員とりまとめ(～1/23授業分)

〇〇〇、〇△□、〇△△・・・
信頼のおける情報の見分け方、主流の「説」の考え方の話は目からウロコ。

1年の説明でも問いが立てられたら、半分解決されたのと同じ、みたいなことを言ってたのを思い出した。

「魚を与えるのではなく、釣り方を教える」ですね(´ー`)←二羽

「小学生が夏休みの宿題で調べましたレベルは高校生のレポートとしてダメです。」レポートはノートまとめじゃない。意味調べとか要約で終わらせないで、と釘をさされて、ごまかしはきかないとわかったし、レポートの精度のハードルが上がった。

根拠、もとのデータにたどれることが大事なのか。

先生とか7限ない先輩とか、けっこう来るんですね。知らなかった☆彡

!と? について感動・知識・伝えたい! それって本当? 他には?

図書委員確認、急に指名で照れました。開館時間きちんと把握してなかった 汗「仕事多すぎ!! 大変だね」と友達から言われたけれど、片付けとかも好きです。試験期間の本運び、任せてください!

はじめは、「〇〇+簡単」とかググって、さっさと終わらせることしか考えていなかった。調べ方わかってきたら、おもしろくなってきた。レポートの量が多くなってしまいそうなの・・・。

去年の先輩達がよくテーマにしていたのが載っているという、Newtonムックに群がっていたのがおもしろかった。

知識は自分を守ってくれる。きちんと参考資料を書いておくことは、自分のレポートを守ることにつながる。出版年が大事とかネットの信頼性とか。

県立図書館から借りてもらった本は、児童書だったけれど、わかりやすかったです。

ホチキス(貸してもらえます?)とか鉛筆削りとかもあって、けっこう便利だと思った。

センター試験前に進路の先生が睡眠の話をしていてとかで睡眠と学習パフォーマンスや睡眠専門医のコラムとか、Twitterの耳の不自由な人への対応（旗の話）をユニバーサルデザインだと思ったとか、図書館の先生ならコレを調べるシリーズが気になるものばかりで、興味を持ちました。一体、どこからそんな発想が出るのですか？

好奇心とか柔軟な発想って大切なのですね。身近で自分なりのテーマとか、探し方や情報に対するアンテナの張り方を具体的に知れたことがよかったです。

高齢者の交通事故を調べていて、自分だけでは本が見つけれなくて、みんなより遅れていて焦っていたところ、連想で本を探せるサイトの使い方を操作しながら教えてくれました。おじいちゃんに聞いてみると話したら、インタビューも大事な調査方法◎とほめてもらえて嬉しかったし、交通系のデータも調べたらとアドバイスももらえて助かりました。

「骨」の本を普通に検索して、遺跡とか小説とか探しているのと違うものばかりで困っていました。図鑑や解剖学の本、スポーツ障害と外傷などを教えてもらい、キーワード選びと探し方のコツがわかりました。

『提案』ができる
といいですね。
「そうですね！」

週一の保健の日が楽しみです。レポートで使う本でないのは借りられますよね？

読みたい本がある♡
また、いきます！

イ 特別活動への支援

○図書委員会

各クラスから2～6名が集まり、今年度は70名の生徒で構成されている。顧問は文化祭参加（古本市の収益金で鎌ヶ谷市子ども発達支援センターへ絵本等を贈る等）や図書館報の発行等の伝統的な活動の支援に加え、ビブリオバトルや書店研修会等の生徒のアイデアを反映する企画・運営に委員生徒が携わったり、校外の研修会などへ参加したりすることを奨励し、積極的に図書館活動に関わることを指導している。

平素は、クラス単位で6～7日間ずつ昼休みと放課後のカウンター業務や館内整備を担う傍ら、職員への読書インタビューを織り交ぜた「図書館だより」を発行する当番活動と、役員を中心として館内装飾やイベントの企画などの有志活動を行っている。図書館からの連絡や広報物の配付は担任経由ではなく、図書委員がSHRで紹介し行うスタイルが定着した。

○修学旅行（沖縄・平和学習）

昨年度は各クラス2時間程度図書館で修学旅行の事前調べ学習を行い、「戦艦」「手榴弾」「大和魂」等の本校で不足の資料を他館より借り出し提供した。クラス内発表会を経て選出された10名は、結団式でレポート内容をプレゼンした。代表者の発表は、着眼点が良い・調査内容が優れている・体験をふまえている等いずれも素晴らしいものであったが、個々のレポートの多くが参考資料等出典の記載がなく、レポート作成時の指導不足を感じていた。レポート集『H30 沖縄資料集』は修学旅行コーナーで閲覧できるよう展示している。

今年度は、班ごとに調査したことを「壁新聞」にし、クラス毎に最優秀作が昇降口に掲示する形態であった。図書館で一斉に調べ学習を行う時間はなかったが、年度始めに修学旅行関連の蔵書一覧やパスファインダー、県立図書館でセット貸出しているテーマ案内、『沖縄資料集』や「修学旅行だより」等の前年度資料を修学旅行担当教員へ提供した。

○読書交流会 ～主体的・対話的な読書活動を異年齢・地域交流にひろげて～

異校種交流研修で来校された近隣小学校教諭に、本校の図書館活動や中高交流メニューを紹介したことが縁で、本を媒体とした交流が実現した。当初、2時間プラン①4人程度の児童各班に高校生が加わり、1分程度で本を紹介し合いチャンプ本を選出（高校生は進行も兼ねる）、②班員で作戦会議（ポスター1枚可）後、学級ミニビブリオ大会開催、を提案し、本校生徒には、小学生向きの本を探し、手本となる読みたくなるような紹介方法を考えることや司会など先生の補助も任せる旨を伝えた。司書は、校長の助言のもとに小学校の教科書や指導要領に目を通したり、県立図書館より児童書研究等の資料を借りたりし、小学生の学習と児童理解に努める一方、学習「ボランティア」であることに留意し、授業者の計画・方針を汲みつつ、生徒が共同して児童に関わり、学び合いができるよう支援してきた。

小学生にとり本校生徒は「憧れのお兄さん・お姉さん」で、交流自体喜ばれた上、班で展開する低学年の授業成立や算数教室等に役立ち、児童の学習意欲が向上したと感謝され「修了証」も頂け、活動の励みになった。高校生にとっても純粋に絵本や年少者とのふれあいは楽しく、協力して成し遂げる達成感を味わい自信がついたり、教えることの難しさや小学校教師という仕事や職業について考えたりすることもでき、実りある体験活動となった。

4 成果と課題・展望 ～「人的資源と教育環境の提供」・「学習等への支援を通して」～

本校では、司書教諭が朝の職員打合せや分掌代表者会議等で、図書館利用を促す案内をするとともに図書館イベントに参加し、生徒に向けて丁寧な講評をしている。授業中や部活動などで見せる姿とは違う生徒の良い面に気付き、それらを伝えることは生徒の活動に対する自信や自己肯定感を高めることにもつながると考えられる。また、研修や生徒引率等で図書館に司書が常駐できないときは司書教諭が図書館利用に支障がないよう開館しているため、「生徒が学校にいる時はいつでも利用できる」状況が保たれている。校内で図書館を心の寄りどころとする利用者にとっても安心・安全な教育環境を提供できたといえる。

前年度の利用状況や新学習指導要領を考慮した選書により今年度購入した図書館資料は授業や進路研究等で手に取られ、よく利用されている。これは専任の司書が、中長期的視点を持ちシラバスや学習指導計画等から各科の単元に関連する資料を調べ、生徒対応や授業支援・レファレンスを重ねているからである。また、利用者と資料を結ぶだけでなく、司書が連絡調整役を担うことで、職員間の情報共有を仲介したり、生徒・教職員・保護者・地域・他校等と様々な人々と交流・協同する機会を提供したりし、図書館活動への協力者が増えたことも成果としてあげられる。今後も学校図書館が、学習・読書・情報・連携の4機能を持つセンターとして教育活動を支えていけるよう、働きかけていきたい。

見出す	自分で取り組む	広げ、深める	まとめあげる
<ul style="list-style-type: none"> ・疑問を持つ ・既習の内容や方法を振り返る ・課題を明確にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・解決の見通しを持つ ・情報を収集し調べる ・自分の考えを形成する ・思いや考えを基に創造する 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな考えに気付く ・友達と互いに学び合う ・自分の考えを伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな疑問を持つ ・学んだことを確実に身に付ける ・学んだことをまとめる ・思考の過程を振り返る

授業では、上表の千葉県教育委員会『『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』も参考に生徒へ助言してきた。保健体育のレポート授業は継続中であるが、生徒の感想や真摯に授業へ取り組む様子から、情報入手方法や出典等の指導に効果があり、前年度の課題は改善されつつあると感じる。今後、成績評価対象となるレポートとは別に、「400字程度のレポート要約」「参考資料の評価」「図書館での学習の感想」等を記入する図書館学習シートを用意し、資料充実と図書館利用指導に役立てるつもりである。

図書委員会活動では職員インタビュー（アポを取り、取材し、まとめたものをチェックしてもらう）等により、コミュニケーション力育成に力を入れている。本校の教育目標のひとつに「リーダー的資質を磨く」がある。これからのリーダーに求められるのは、ヒーローではなく、異なる意見や多様な考えの受容と折衝を踏まえ、合意したことに当事者意識で遂行するように導いていく能力であり、そのためにもコミュニケーション力を高めることは欠かせない。委員会活動の折々で「気づいたことを仲間とシェアし、次のアクションへつなげる」訓練として、自分の言葉で話したり書いたりすることで「振り返る」ことを課してきた。生徒は回を重ね、意見を出すことへの抵抗が減り、表現も上達している。

ビブリオバトルや読書交流会は、異校種連携・地域交流・ボランティア・キャリア教育等も包括する活動となり、本を媒体とした活動の可能性を考えることができた。今後は、ビジネス創出につながるソーシャル・リーディングスキルやファシリテーター研修等の本事業で得られた新たな視点をいかに図書館教育活動に取り入れるかが課題である。

読書交流会について

令和元年12月4日

図書視聴覚部

- 1 目的 地域の異年齢集団と読書を介した交流を通して、生涯にわたり読書に親しむ意欲と態度を育成する。また、卒業後の進路を考える機会とする。
- 2 日時 令和元年12月18日(水)・19日(木) 12:00～16:00
(16～19日 キャリア教育委員会「近隣小学校学習支援ボランティア」内)
- 3 場所 鎌ヶ谷市立〇〇〇小学校
- 4 参加者 図書委員会役員を中心とした有志生徒 12名(2日間 延べ20名)
2年生(氏名) 1年生(氏名) 3年生(氏名)
※鎌ヶ谷市負担のボランティア保険に加入 別途「行事参加届」提出
- 5 内容 (1)小学生に読み聞かせや寸劇などにより「本の魅力」を紹介する。
(2)5校時(13:20～14:20)に小学2年生の学級で行う「ビブリオバトル学習」に参加する。おもにファシリテーターとしてグループ(4人班)に入り、ミニビブリオバトルの進行を補助する。
(3)小学校教員との意見交換(職業について、読書について、その他)
- 6 連絡・担当者 〇〇〇小学校 I先生(教務主任)、T先生(担任、生徒指導)、H先生(担任、鎌高OG)
K先生(司書)、A先生(鎌高OB、12/13「先生っていいもんだ」講師)
鎌ヶ谷高校 T(司書)、A(図書視聴覚部)引率指導12/18
- 7 事前学習 11月25日(月)、28日(木)、12月12日(木)、13日(金)、16日(月)、17日(火)
絵本の選び方・読み方、ビブリオバトルの方法と演習、ボランティアについて、小学生の学習、年少者との接し方、など 司書および図書視聴覚部職員が指導
17日(火)15:00、〇〇小で打ち合わせ 生徒(E、U)・司書
- 8 実施報告 (1)実施記録と参加生徒の感想をまとめる。(キャリア教育委員会フォルダ内)
(2)図書館だより「図書委員の下克上」裏、3/9発行図書館報「つるべ」45号
(3)「読書活動の推進事業(確かな学びの早道『読書』)」に概要*今年度実践協力校
- 8 その他 ○ビブリオバトルでは、読書の楽しみを共有する喜びを体感するだけでなく、その準備・発表・まとめを通して「読む・聞く・話す・書く」力の向上が期待できます。
○学校図書館には、幅広い学習資料の活用法を指導することの他に、さまざまな講座を実施することや博物館や、美術館などの文化施設・異校種などと連携すること、多様な人々と交流する機会を提供することも求められています。



うら下克上

12月イベント特集

飛び入り参加も歓迎
気楽にご参加を！
心ばかりの参加賞を
用意しております。

23(月)冬休み直前新着案内を発行予定です

〇〇〇小学校・鎌ヶ谷高校 読書交流
(小学校学習ボランティア内活動)

18日(水)・19日(木)に小学2年生2クラスが行う「ビブリオバトル学習」に鎌高生(1年生5名、2年生4名、3年生2名)がファシリテーター役で授業をお手伝いします。お兄さんお姉さんとして、小学生をリードしつつ、童心にかえって絵本を味わったり子ども達の笑顔に触れたりし、心に残る体験となりそうですね。ビブリオ学習に配当された11名は「ビブリオカフェ」に参加し予習の上、臨みます。

LUCKY BAGS

限定30福袋～バックDE貸出～

図書委員と常連利用者さんで、みなさんに読んで欲しい本1～3冊をクリスマスパスパッケージの福袋にしました。テーマは、「忘れられない1冊になる」「おいしい物語」「作家Aの作品」「部活小説」「時短料理」「大切なあの人に・・・」「今年のベスト」「1年国語の期末考查」「一度は聞いたことがある作家の本」など。

♪包装に使用している新聞紙は本物の英字新聞です。

返却は、始業式の1月7日(火)までに。

図書館の本のみ、カウンターまたは図書館前廊下の返却BOXへ。

プチギフト
〇入り

ビブリオカフェ OPEN

ミニビブリオバトルでお気に入りの本をすすめてあおう！

12月17日(火) 集合10:45 11:00～予選 11:40～決勝

*紹介する本を1冊持ってきてください。

*3分でおすすめの本を紹介してください。

*一番読みたくなった！票で「チャンプ本」を決めます。



予選 鎌ヶ谷市子ども発達支援センター「のびのびの一む」学級名に困むくじら・かに・ペンぎん・さかな・いるか、の5チーム(各4～7人)にわかれ、個人戦を行います。1人持ち時間5分(プレゼン3分+2分以内のディスカッション)で、チームごとにチャンプ本を選出します。決勝 各チームのチャンプ本5冊からグラントドチャンプ本を投票で決定。プレゼンは団体戦(チーム対抗形式)で行います。作戦によっては複数人や予選紹介者以外のメンバーがバトラー(発表者)も可です。



ワークショップ 報告 <参加者の感想&写真>

11/25(月) 講演を知ろう

講師 神田松之丞が表紙を飾る『現代用語の基礎知識 2020』 ↓

今まで知らなかった講演の世界を知れて楽しかった。ハリセンで時間経過を表したり場面転換したりする独特の表現も興味深い、落語と同じようなものかと思ったが、ハリセンを勢いよく叩いて始まり、驚いた◆声とハリセンだけであんなに話に引き込まれるとは思わなかった◆自分にとっては難しい内容だが、良い日本文化にふれる貴重な体験だった◆おもしろかった。ちよつとやってみたくと思ったけど覚えるのが無理◆肺活量には自信があったけれど、一息であんなに長い文章を話すことは辛かった◆参加しながらできるものでも楽しかった◆思っていたよりかいたかんじがなくて、きいてたのしかかった◆古語のイメージが強かったので、効果音や現代語が聞こえてきて驚いた。◆好きな芸能人が企画で講演をして興味を持った。話から昔の経験を思い出せたことが、自分にしかできない楽しみ方でもよい経験になった◆効果音の出し方の「きりきりのつびりひよ〜」などはどこから思いつくのか？「名人」とは何なのだろうか。「奇跡の一本杉」の話もきいてみたい◆普段おしとやかな先生の力強い講演している姿がカッコイイ！発声が良い！◆「金城斎典山」の早いところが凄かった。たたくの楽しかった◆今の生徒は「赤穂浪士」知らない!? ◆締めめの部分がおもしろかった。 アンケート抜粋「読み、終わりとします。」

文化祭収益金で購入検討中の本のびのびの一むへ



『ふたをばかっ』
『みず ちゃぼん』
『ごはんなあに? いただきます』
『トミカじどうしや図鑑』
『おつかいあいさん』
『ダンブがどっしーん』
『おふろにいられて』
『いきものおとなになったら』
『ぼうしとつたら』
『ころころまるちゃんできて』
『ころころまるちゃんみつけた』
『わらべうたで子育て』
『なやみはつきねんだなあ』計13冊

鎌高図書館へ(生徒リクエスト上位)

*すでに蔵書にあるものを除く

『ハリポッター魔法図鑑』、『私は私最後まで生きている』、『住野よる』、『青くて痛くて脆い』、『村田沙耶香』、『コンビニ人間』野崎ふみこ『ホスビめし』1～3 計7冊



11/28(木)

絵本のよみかせ



ビズリオカフェ 報告

12月17日(火) 和氣藹々

お気に入りの本をすすめ合いました

予選(チーム内個人戦)11:10～ 決勝 11:40～ 参加 21名

発表者と紹介本の『書名』・作者名

順	いるかチーム	かにチーム	さかなチーム	くじらチーム	パンぎんチーム
予選 1	さん (3年) 『だいくとおにろく』 松居直 再話/絵 赤羽末吉	さん (3年) 『へんたて 韓船大学』 へんた建博研究会 青柳碧人	さん (3年) 『あやしうらしあなかなし』 浅田次郎	さん (2年) 『いやいやえん』 中川李枝子	さん (1年) 『人魚の眠る家』 東野圭吾
予選 2	さん (2年) 『異世界居酒屋のガ』 居酒屋のガ	さん (2年) 『魔法使いハウルと火の悪魔』 ハウルと火の悪魔	さん (2年) 『禁じられたソナタ』 赤川次郎	さん (2年) 『美少年探偵団』 西尾維新	さん (3年) 『へんな怪獣』 星新一、和田誠
予選 3	さん (1年) 『麦本三步の好きなもの』 住野よる	さん (1年) 『ポニーテール』 重松清	さん (1年) 『走れメロス』 太宰治	さん (3年) 『ハリーポッターと賢者の石』 JK Rowling	先生 (英語科) 『エンジェルフライト』 佐々涼子
予選 4	さん (1年) 『密室の鍵貸します』 東川篤哉	さん (1年) 『密室的鍵貸します』 東川篤哉	さん (1年) 『ハリーポッターと賢者の石』 JK Rowling	さん (1年) 『屋上のテロリスト』 知念実希人	さん (1年) 『屋上のテロリスト』 知念実希人

班の様子(チームくじら)

(2年 Y・U)

お茶を飲みながら、和やかな雰囲気で始終進めることができました。本を紹介しながら、「それ面白そうだねー！」とか「ここがおススメだよ！」など学年を問わずたくさん話せてとても楽しかったです！また、みんなのオススメの本を知ることができて私も読んでみたくなりました。みんなの前で発表するのは、やっぱり緊張しましたが、良い経験になりました。また機会があったら是非参加したいです！

『いやいやえん』…私も小さい頃に読んだのですが、内容をすっかり忘れていました(笑)この本の魅力を再度引き出されました！『屋上のテロリスト』…まず、題名から引き込まれました。女子高生がテロについて計画するっていうストーリーがすごい！(笑)読んでみたくなりました！ ↓ 中国語版で読んでほしいです！『ハリー・ポッターと賢者の石』…大きな声で明るく話されていて良かったです！この機会に私も読んでみようかなと思いました。



チャンプ本

W先生のオススメ

『エンジェルフライト国際霊柩送還士』

さすが我々2年のW先生！聞きやすい声で本の内容を紹介して下さいました。海外で亡くなった方の対応を行うことを仕事にする方々のお話です。最初は航空会社が行っていましたが、徐々に企業が受け継いで行うようになりました。W先生のお話でそのような仕事について初めて知りました。私たちが修学旅行で訪れた羽田空港にもあるそうです。それらのことについて詳しく知りたいと思います。そしてW先生は、年間100冊も本を読む読書家で、アルフォートとルマンドではアルフォートの方が好きだそうです。

準チャンプ本 Sさんのオススメ

『麦本三步の好きなもの』

『君の隣臓をたべたい』の作者である住野よるさんの本です。7つ収録されているお話があるので、どれも1つ1つが短いので簡単に読めるそうです。住野先生の他の作品『かくしごと』『ご』とより易しめの本らしいので本が苦手な方も読むことができますと思います。Sさんは「住野よる先生の本を読むと『明日もがんばらなくなっちゃ』というより『明日もがんばってみようかな』という気持ちになれる」そうです。とても素敵な考え方だと思います。因みにSさんはアルフォートとルマンドより、プチャウが好きだそうです☺ (2年 R・E)



読書交流会 Ver. 知的書評合戦

ビブリオバトル体験記

小学校学習ボランティアに参加して

昨年からはまった本校のビブリオバトル。今ではパトラーも増え、鎌高図書館の一大イベントにもなりました。スマホやインターネットで何でもできるようになった令和の時代、本を読む機会が少なくなってきたのが現状です。昨年の文部科学省の調べで、高校生の読書率が小中学生と比べて半分ほど低いことがわかりました。その中でも、鎌高生の図書館利用率は一日平均三十九人と比較的多いのでこれからも利用してほしいと思います。

今年度、新たな挑戦として十二月に〇〇小学校に赴き、ビブリオバトルの楽しさややり方を小学二年生に伝えてきました。四日間の冬季学習ボランティアには延べ四十六名が参加し、その内本を媒介とする読書交流会に十五名も関わりました。〇〇小学校の子どもたちは学校図書館に足を運んでいる人が多く、自分のお道具箱には二、三冊の本が入っていて、時間が余るといつも本を読んでいる姿が見受けられました。



班決めじゃんけん 誰が来るかな？



大型絵本をともに楽しむ

ビブリオバトル学習 おすすめの本をしょうかいしあおう 13:20~14:20

<p>2019年 12/18(水) 2年2組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介(全員の前で、好きな本紹介も) ★4人班ごとにひとり3分間のビブリオバトル ★班内でチャンプ本を決める ★チャンプ本の発表についての作戦会議 ★4班合同(2組に分かれ)チャンプ本紹介 <p>チャンプ本…1番読みたくなった本</p>	<p>12/19(木) 2年1組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介(班で) ★ミニビブリオバトル(1日目と同じ) <p>絵本の読み聞かせ 折り紙プレゼント交換</p>
---	---

関連単元:小学2年生 国語「ないた赤おに」心にのこったところを、つたえ合おう



高校生の紹介に集中



協力してチャンプ本を発表(1日目)



進行を補助する鎌高生

小・高 読書交流会
先生以外1総集編
厳選 ワタシの一行
図書館、この1年
User's voice 2020

「完走した」感想

小学校のビブリオバトルとボランティア活動に参加した生徒の感想をまとめました。氏名の後の〇数字は参加日数

三年 N・Y②

その本を読んだ経緯は？を言い直したことも今ではいい思い出です。パトラーの個性豊かな発表は面白かったのですが、時間は半分程度で、効果的な発表方法を教えられたらよかったです。

三年 H・H③

メモを懸命に考えている様子からも伝えたい気持ちがありました。スマホやインターネット時代の今だからこそ、本の面白さや良さを子どもたちに伝えなくてはいけないことも学びました。

二年 N・H①

不安と緊張でいっぱいでしたが、小学生の明るさに助けられとても楽しいものになりました。自己紹介で本を紹介した時に「知ってる」とリアクションをくれたことが嬉しく緊張も解けました。

二年 U・Y②

小学生同士でもっと声、大きくしたらいいね。「みんなに見えようようにしたらいいよね。」などの意見交換もみられてよかったです。給食時の質問タイムや昼休みのドロケイも楽しかったです。

二年 E・R②

小学生も自分が好きな本を選んで、付箋を貼ってわかりやすく説明したり、話の肝をつく質問には読みたくなるようなヒントだけしたりするなどの工夫をしていました。自分の伝えたいことを発表し、聞いている子が質問をして理解を深める、という形がとてもすばらしいと思いました。新鮮で楽しく、発見のある交流会でした。

二年 T・H①

登場人物の気持ちを考えながら本を読むこと、たいせつさを学びました。小学生は、ちが温かくて好き、ちの勢いがあるところが楽しいなど、心でも本を読んでいた。目で追うだけでなく、頭で想像し、心で感じる、私もそのような読書の醍醐味を体験したくなりました。

一年 H・R②

小学校でビブリオバトルが成り立つのか不安でしたが、想像以上に意欲的で発表がうま、持っていた本にも興味を示してくれました。後半は、教室全体に目を配り、周りを見る力が僕についてきたと思います。次は中学生とミニビブリオなどで読書交流をしたいです。

一年 M・A②

どうすればいいかわからない時もありました。コツをつかめるようになると5年生でも2年生でもさまざまな話ができました。

一年 S・A②

小学生から言葉を引き出すのは難しく、算数教室でも、やり方を説明しても「わからない」と言われたりよそ見されたりし、解決方法に悩みました。ビブリオバトルでは一日目の反省を二日目に活かせることが良かったです。小学生が、高校生がいて助かったと言っていたの聞いて、安心しました。

一年 S・M①

小学生はとても素直で、ディスカッションでも質問や感想をたくさんしてくれ盛り上がり、話してくれて可愛かったし、楽しかったです。また機会があれば参加したいです。

一年 H・Y④

僕は教えることの難しさと教えてもらえる有難さを学ぶことができました。教師は、将来なりたい職業の一つなので、今回の体験はとても良いものでした。助けていただいた先生方、クラスの皆さん、ありがとうございました。

一年 K・K④

先生という職業は簡単ではなく、それでも続けられているのは、子供の笑顔や成長を見続けられているからだと思いました。子供とともに成長することは素敵だと思いました。

一年 M・M④

掃除の仕方をみても学年が上がるにつれ成長しているのを感じました。喧嘩になりそうな場面では、私はこう思うけど、どう思う？など自分の意見を伝えつつ、相手の意見も聞くことができている、このようなやり取りは大切だということも学びました。